

# 第1回 公共施設マネジメント入門講座

## 1. 参加者に聞いた『府中市の公共施設に対する印象』

【場所】	【参加者】
スクエア21・ 女性センター	<ul style="list-style-type: none"><li>・数は多いが、充実はしていないと思う。施設の機能が今の時代に合っていない。職員にサービス業という認識がない。</li><li>・学校の施設は充実している。</li><li>・公共施設で開催される講座は数が多いが、その講座内で内容が完結してしまう。講座で学んだ内容を色々なところに発信・循環できるようになればいいと思う。</li><li>・施設は充実しているが、日々劣化している。修繕計画を立てて計画的に維持管理していく必要がある。</li><li>・市の施設でも民間の力を借りている例もある。市民が足を運べる施設にしてほしい。</li></ul>
白糸台 文化センター	<ul style="list-style-type: none"><li>・充実はしているが、将来を見通しているのかが不安。</li><li>・近い距離に同じような施設が複数存在する場合がある。利用する立場としては便利だが、予算を有効に使っているのか疑問がある。</li><li>・公共施設は有意義に使っている。ただ、個々の施設の機能で有効に使われていないものもあるのではないか。</li></ul>
中央 文化センター	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設は古いが、数は豊富。土台としては良い。ただ、無駄な部分もあるかもしれない。</li><li>・他市と比べ数は豊富だが、逆に使われていないものや存在価値が見いだせないものもあるのではないか。充実しているのは良いのだが、税金が使われているものなので、過剰にならない方が良い。</li><li>・利用者が一部の人に限られてしまっている施設があるのではないか。</li><li>・感謝して施設を使用している。事後処理は責任を持って管理している。利用者に配慮され、安全が行き届いている。建物としては、これ以上要求する必要はないと思っている。</li></ul>

## 2. 参加者からの主な質問・意見及び市の回答

	【場所】	【参加者】	【市】
1	スクエア21・女性センター	民間企業の力を使って収入を増やし、修繕費に充てるなど民間活力という視点もあるといいのでは。	現状では、16施設で施設の運営を任せる指定管理者制度を導入しているが、今後、さらに収入、つまり歳入を増やす努力が必要だと考えている。
2	スクエア21・女性センター	今ある施設だけではなく、これから計画される施設や現在、計画中の施設にも公共施設マネジメントの考え方は反映されるのか。	公共施設マネジメント基本方針を策定した以前から整備計画を進めていた建物もある。今から可能な範囲で基本方針に定めた内容を取り入れていきたい。また、公共施設マネジメントの「建ててから壊すまで長い期間で物事を考えてく」という視点を持って、今後の事業に対して維持管理の面も含めて様々な検討をしていく。
3	スクエア21・女性センター	公共施設の中には、建物のほかにインフラも含まれると思うが、インフラについてはどうなっているのか。	建物とは別でインフラについてもマネジメントを進めている。
4	スクエア21・女性センター	建物自体は大規模で素晴らしいが、内容が物足りないと感じる部分がある。ただし、大規模施設が地域に密着した使われ方をしているのは良いと思う。	
5	スクエア21・女性センター	国や都レベルに近い大規模な施設を残すために、近隣市と共有する等、近隣市との連携によって問題解決を図ることはできないのか。	府中市単独で保有するより、支え手が多くなれば施設の維持は楽になるので、今後のやり方の一つである。多くの方に使っていただき、満足いただけるような施設にしていくため、あらゆる方法を考えて取り入れていきたい。
6	白糸台文化センター	今回の講座は、施設総量の抑制・縮小というプランに賛成してほしい、というものなのか、それとも市民の意見を聞いてもらえる意見交換会と捉えるべきなのか。	この講座は、課題を共有し、今後の具体的な進め方についてご意見をいただく場と考えている。今回は方策について全体的な考えを話したが、今後具体的な議論を行うにあたって、まずは府中市として皆さんと課題を共有する必要があると考えて講座を開催した。
7	白糸台文化センター	この講座は、こういう状況だから、基本方針にあるように年間22億から34億円の予算規模の縮小をしないと府中市の公共施設はやっていけないという現状報告なのか。	あくまで歳出の不足分を公共施設にかかる費用だけで調整しようとすれば、予算規模を縮小しなくてはならないという仮定の話である。歳入についても努力し、他の事務事業についても見直していくことが重要である。

8	白糸台 文化センター	この問題は府中だけではなく、どこの自治体も抱えている問題だと思う。その問題を解決している事例等を調べて、研究してほしい。	全ての自治体に共通する問題ではあり、施設の具体的な再編が進んでいるところもある。他の自治体の事例は、そのままでは府中市に適用できないものもあるが、色々な意見を聞くことで解決策を出せることもあるだろうし、その中から府中市だからできるやり方を進めていきたい。
9	白糸台 文化センター	何かを市民に見せるときに、分かりにくくなりがちなので、市が持っている施設の維持費が割高なのか、数が多くすぎるのか、それがどの程度なのか、わかるようにしてほしい。また、用語の内容についても説明が必要である。	今後、見える化をしていくときに用語等には十分配慮したい。見える化で一番わかりやすいのは数字なので、その数字がどんな根拠に基づくのか、どういう意味合いなのか、できるだけ伝わりやすい方法を考えたい。
10	白糸台 文化センター	こういった講座をやることに意義があると思って参加した。マネジメントの5つの方策は全部大事なこと。市制60周年の市のテーマは「協働」である。色々な分野の技術を持った市民が沢山いるので、府中市がこういった会を何度も実施して意見をくみ上げてほしい。そうするともっと良いことができると思う。	
11	白糸台 文化センター	総量の抑制はわかりやすくて誰もが思いつく。だが、その前に他の方策で努力してもらいたい。それを十分やって最終的に総量抑制・削減というのならわかる。他市に比べて府中の公共施設は凄いと思う。それは決して悪いことではないはず。施設を廃止するのではなく、知恵や技術を結集すれば、何か答えがあると思う。	
12	白糸台 文化センター	市民みんなの意見を聞いてやっていくという姿勢が見えて有意義だった。意見を色々聞くとまとまらないというマイナス面だけを考えず、多くの市民を集めて意見をどんどん言ってもらえばいい。その中には貴重で実現可能な意見があるはずだ。	
13	中央 文化センター	施設を指定管理者制度等で実際に運営してみて出てきて問題点についても教えてもらえるようにしてほしい。市	事業を開始して一定の期間が経過したら、その効果等をきちんと検証して説明するのは重要なことである。いた

		は委託した後に分かった市民にとっての長所と短所、市にとっての長所と短所を説明するようにしてほしい。	だいたいご指摘は今後いかしていきたい。
14	中央文化センター	施設管理を市が業者へ委託するのは良いのだが、委託する際の流れは、利用者だけではなく、委託する市も管理責任として細かいところまで見てもらいたい。	市は、委託しているものであっても、事業者側の提案や意見に対し、しっかりとした評価をする必要がある。建築施設課としても、建物のハード面だけではなくソフト面についても、技術職の目線などからきちんとチェックを行い、各職員の専門性を高めていきたい。
15	中央文化センター	講座は有意義であると実感した。ただ、資料については、字を大きくしたり、色を濃くしたりして、具体性をもつてポイントだけ見せることが必要である。	今回の資料については、今後よりわかりやすくなるように見直ししていきたい。また新たに作成する資料についても気を付けたい。
16	中央文化センター	こういう催しはありがたい。また、日常的に市民が市役所を訪ねた際に時間を割いてもらえる雰囲気作りをしてもらいたい。	今回説明会ではなく講座という形にしたのは、できるだけ対話をして認識を深めていきたいと思ったからである。普段、利用者と一番接するのは各施設の窓口なので、そういった雰囲気作りには気を付けていきたい。